



1.施設全景(海側から)。2.サンゴの海。3.太陽光を取込んだサンゴの海上部。4.海人門からの展望。5.水槽を底から見上げるアクアarium。6.黒潮の海(大水槽)世界最大の亚克力ルガラス。

沖縄美ら海水族館

Okinawa Churaumi Aquarium

施設概要

建築主	沖縄国営記念公園
所在地	沖縄県国頭郡本部町字石川 424 番地
敷地面積	770,000 m ²
建築面積	10,258 m ²
延べ面積	19,199 m ²
構造	R C 造、一部 S R C 造
階数	地上 2 階、地下 2 階、搭屋 1 階
最高高さ	18.1m
駐車場	-
竣工	2002.10

コンセプト

美ら海水族館は旧水族館の後方の山手側に位置し、海への眺望を遮らないよう山の斜面に沿って建っている。公園の景観に配慮し、できるだけボリュームを小さく見せるように屋根を分節化し軒を低く抑えた。また、深い庇や雁行した壁面により建物全体に陰影を創り表情を与えた。その他に亜熱帯気候である沖縄の風土を考慮し、エントランス広場上部には暑い日ざしや雨を遮る風通しのよい半屋外のパーゴラ大空間を設けた。黒潮の海水槽では、魚類最大級のジンベエザメやマンタの飼育繁殖が求められ、水深 10m、水量 7500t の世界最大級の水槽が要求された。その大水槽の観客への見せ方についても、巾 21.5m、高さ 8.2m、厚さ 60cm の大亚克力ルパネルを設け、臨場感を演出した。その他、海底からの観察が可能なアクアariumや、水槽の亚克力ルをシアターのスクリーンにするなど、訪れる人々がいろいろな角度から様々な状態で水槽を観覧できる空間づくりに力をいれた。

・公共建築賞・特別賞 2006